

2019

奇術史研究会

THE SOCIETY FOR JAPANESE MAGIC HISTORY

於・両国 江戸東京
博物館
学習室1・2

第一回特別開催
プログラム

▲松旭齋天一

欧州巡業の新発見 森下洋平

▲日本手品の実演と 北海翼

歴史解説 金盛友哉

●主催



★ 来ル九月二十二日 月十三時開演!!



★ 一般二千円
★ 学生一千円

御申込

メールの件名を「奇術史研究会参加申込」とし、必要事項を明記のうえ
magic-history-info@freeml.com へ送信してください (詳細は裏面参照)

いま明らかになる 不思議と驚異の日本奇術史

奇術史 研究会

日本の奇術（マジック、手品）は長い歴史を持ち、古くから人々に親しまれてきました。初めて開催される「第1回 奇術史研究会」では奇術史の最新研究報告のほかに、江戸時代から受け継がれた技の数々をプロによる実演・解説で披露します。

2019.9.22 Sun - PROGRAM

●各発表には質疑応答の時間が含まれます

13:00 - **開演（開場12:30）**

13:05 - 14:15 **「松旭斎天一 欧州巡業の新発見」 森下洋平**

明治時代、わずか数名の一座で海を渡った「日本近代奇術の父」松旭斎天一。しかしその道程や演目など、詳細は不明のままでした。本報告では天一の謎に包まれた欧州巡業を、新たに発見された資料をもとに探ります。

森下洋平 Yohei MORISHITA

奇術愛好家、奇術史研究者。「驚異」をめぐる文化と歴史についても研究している。武蔵野美術大学造形学部卒業。卒業論文「手品という虚構表現 娯楽と視覚芸術の比較から」。

14:15 - 14:25 **休憩**

14:25 - 16:00 **「日本手品の実演と歴史解説」 北海翼・金盛友哉**

代表的な日本手品を数演目取り上げ、実演と歴史解説を行います。実演者がこれまでに学んだ流派による違いにも言及し、今日演じられている日本手品の歴史を体系的に捉えることがねらいです。

北海翼 Tsubasa KITAMI (写真上)

2007年北見マキに入門し、2011年和妻師（日本手品）としてデビュー。現在は（公社）落語芸術協会に所属し、都内の寄席を中心に活躍している。2019年北海翼に改名。

金盛友哉 Tomoya KANAMORI (写真下)

現在、東京大学大学院博士課程に在籍し、奇術史研究者として『イリュージョンミュージアム～幻影博物館～』日本史監修ほか、講演活動なども精力的に行なっている。TokyoTomoの芸名でマジシャンとしても活躍。



申込方法（先着80名） 参加費 一般 2000円 学生 1000円

下記の必要事項を明記のうえ、**メールにてお申し込み**ください。

件名「奇術史研究会参加申込」、氏名、住所、メールアドレス、
年齢層（10代未満、10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代以上）

メール宛先： magic-history-info@freeml.com

会場 江戸東京博物館 学習室1・2（開場12:30）

東京都墨田区横網 1-4-1

JR 総武線 両国駅西口下車 徒歩3分

都営地下鉄大江戸線 両国駅（江戸東京博物館前）A4 出口 徒歩1分

